

平成 27 年度 環境人材育成コンソーシアム 事業計画書（案）

1. 会員制コンソーシアムの今後のあり方の検討

環境人材育成コンソーシアム（EcoLeaD）は、その設立準備会の発足から 7 年、正式発足から 6 年が経過した。その間、環境省と協働し、また、会員の協力を得て、以下のような成果を上げることができた。

- 『「環境力」を有する T 字型人材育成プログラムガイドライン』（以下、「環境力ガイドライン」という。）、及び「グリーンマネジメントプログラムガイドライン」（以下、「GMP ガイドライン」という。）の策定
- 「環境力ガイドライン」及び「GMP ガイドライン」に基づく、単位互換協定を締結した信州大学、横浜国立大学、広島大学、及び茨城大学の大学院におけるモデル授業の実施、並びにテレビ会議システムを用いた遠隔授業（ビデオ講義による事前学習及びワークショップ等）の実施ノウハウの蓄積
- 「GMP ガイドライン」に基づく企業向け環境経営力モデル研修（ビデオ講義による事前学習及びワークショップ等）の実施ノウハウの蓄積
- エコプロダクツ展における環境人材育成の普及促進のためのセミナーの開催
- 「環境 人づくり企業大賞（環境人材育成に関する先進企業等表彰）」の創設
- 学習管理システム「Moodle」を用いた「環境教育教材コンテンツデータベース」の作成、並びに大学院におけるモデル授業及び企業向け環境経営力モデル研修における e-ラーニングの実施

一方で、環境人材育成の更なる普及・促進を目指す上で、以下に示す通り、会員企業・大学の少なさが、課題として挙げられる。

- 正会員 26 団体(大学 13 団体/企業 13 団体)、NPO・NGO 会員 4 団体、個人会員 34 名、賛同団体 3 団体、海外賛同団体 26 団体
- 会費：正会員 10 万円、NGO・NPO 会員 3 万円、個人会員 1 万円

EcoLeaD は会員からの会費収入で運営を行っており、会費制は一定の活動費を確保できるメリットがあるが、その一方で会員数が伸び悩む理由の一つとなっていると考えられる。EcoLeaD が「環境人材を日本及びアジア諸国において大量に養成する」ことを目的として設立されたコンソーシアムであることに立ち返り、今後、EcoLeaD が「何を目的に、何をするのか」を改めて検討し、その上で EcoLeaD のあり方を決定して行く必要がある。

以上のことから、これまでの成果及び EcoLeaD の原点を踏まえて、今後、どのような組織のあり方が求められ、より具体的に何をし、どのような活動を行うことが環境人材の育成に資するののかについて検討する。

検討は、代表幹事が指名する幹事等によって構成する検討会において実施し、その検討結果は幹事会及び総会に報告する事とする。

2. 平成 27 年度事業

1) 総会の開催

総会を年 1 回開催する。総会では、環境人材育成コンソーシアムの会則、事業計画・収支予算及び事業報告・収支決算、役員を選任等を審議、決定する。

2) 幹事会の開催

幹事会を年 2 回程度開催する。幹事会では、事業計画・収支予算及び事業報告・収支決算を審議し、総会に提案する。また、事業の実施にあたっての具体的内容を審議する。

3) 広報・普及関係

- HP の更新（随時）：総会・幹事会・その他の行事等の活動報告、EcoLeaD 及び会員主催イベントの案内等の掲載を行う。
- メールニュースの配信（月に 1～2 回程度）：EcoLeaD の活動や関連イベントを紹介するとともに、会員が主催するイベントの情報や人材募集情報を掲載できるメールニュースを、会員とその他の希望者に配信する。
- その他の活動：EcoLeaD、「環境力ガイドライン」、及び「GMP ガイドライン」のパンフレット（日本語・英語）を必要に応じてアップデートする。また、これらのパンフレットを関連イベント、各種セミナー、会合等で配布し、広報・普及に努める。

4) 国際交流及び協力

海外賛同団体であるアジア環境大学院ネットワーク（ProSPER.Net）会合を含む、環境人材育成関連の会合に出席して EcoLeaD の取組を紹介する。また、必要に応じて他の海外賛同団体の取組情報を収集し、交流を深め、環境人材育成のための国際的ネットワークの構築を目指す。

5) 「大学連携 GMP 遠隔プロジェクト」の展開

信州大学、横浜国立大学、広島大学、茨城大学に北海道大学を加えた 5 大学と連携・協働し、アジアの環境人材育成に向けた大学院環境経営専攻プログ

ラム「グリーンマネジメントプログラム（GMP）」を、通常の対面授業、環境教育教材コンテンツデータベースを用いた e-ラーニング、及びテレビ会議システムを用いた双方向リアルタイムの遠隔授業を、適宜組み合わせで開講する。

平成 27 年度は、以下の 6 科目を開講する。

- サステナブル・ガバナンス概論 [英語] (広島大学)
- グリーンマネジメント概論 [日本語] (横浜国立大学)
- サステナブル・ガバナンス概論 [日本語] (信州大学)
- 環境政策概論 [英語] (広島大学)
- 地球環境学概論 [日本語] (茨城大学)
- グリーンマネジメント概論 [英語] (横浜国立大学)

また、広く一般公開を前提とした、1 または 2 科目程度の講義資料及び資料の作成を検討する。

6) 企業会員向けセミナー

① EcoLeaD 会員のための環境省主要施策勉強会 - 官民交流会

環境省幹部を講師に迎え、環境省各部局における最新取組の情報を共有する「勉強会」と、会員と環境省幹部との交流を図るための「官民交流会」を、複数回、企画・開催する。

② 有識者による「環境問題」に関するセミナー (EcoLeaD 予算では計上しない)

各分野の第一人者を講師に迎え、環境に関する最新状況についての企業会員向けセミナーを、複数回、企画・開催する。

7) 「GMP ガイドライン」に基づく、社会人を対象とする環境人材育成のための研修モデルプログラムの実施

平成 25 年度に策定した環境経営力研修モデルプログラムの精度を高めるため、また、環境人材の普及を目的として、実施する。

- 管理職向け研修：定員 30 名を 2 回程度
- 経営者層向け研修：定員 30 名を 1 回程度

8) 「環境 人づくり企業大賞 (環境人材育成に関する先進企業等表彰)」の運営実施

平成 26 年度の第 1 回「環境 人づくり企業大賞」の表彰式を実施・運営し、第 2 回を実施・運営する。また、第 2 回の実施に向けて、第 1 回の実施結果を踏まえた審査基準の最適化に向けた検討を行う。

9) 産学官民連携による環境人材育成の活性化に向けた業務 - 第 5 回環境省・EcoLeaD 主催セミナーの開催

グリーン経済を牽引する環境人材の役割等に関する社会の認知度向上を図り、その情報共有の機会を提供することを目的として、平成 27 年 12 月 10 日(木)~12 日(土)に開催が予定されている「エコプロダクツ 2014」において、「第 5 回環境省・EcoLeaD 主催セミナー」を開催する。